

第5回安中市総合計画審議会 議事概要

(以下 敬称略)

- 【日 時】 平成30年2月1日(木) 午前9時30分～12時00分
- 【場 所】 市役所本庁第201会議室
- 【出席委員】 17名(小竹、田島、小嶋、千葉、保々、大塚、上原(メ)、篠原、阿久津、三宅、須藤、武井、高橋、大平、吉田、上原(邦)、神成)
- 【欠席委員】 4名(恩幣、田村、久保、多胡)
- 【事務局】 5名(総務部長、企画課長、企画調整係長、企画調整係担当職員2名)
- 【支援事業者】 2名(特定非営利活動法人NPOぐんま研究員)
- 【配布資料】
- ・ 次第
 - ・ 資料1: 第2次安中市総合計画(案)
 - ・ 資料2: 第2次安中市総合計画(案)に対する意見(パブリックコメント等)について
 - ・ 資料3: 第2次安中市総合計画について(答申案)

【会議経過】

1. 開会(進行: 企画課長)

2. 会長挨拶

3. 協議事項

〈会長〉協議に先立ち、上原(メ)、大平の両委員を議事録署名人に指名したい。

〈委員一同〉異議なし。

(1) 第2次安中市総合計画(案)について

〈資料1に基づきNPOぐんまより説明〉

〈会長〉P.60のピンク色の表記は何か。

〈NPOぐんま〉指標の暫定値であり、最新の数値が入手でき次第、差し替える予定である。

〈委員〉P.104「5-3 商工業の振興」について。まちづくりの目標として具体的指標値が入っているものと、そうでないものがあると思う。例えば、群馬県が市町村と共同で策定した「地域未来投資促進法に基づく基本計画(群馬県基本計画)」(以下、県基本計画)を見ると、計画の対象となる「重点促進地域」として、富岡市についてはどのような工業団地(整備)を進めていくかといった具体的な計画の記載があるが、安中市ではそれが無い。どのように考えているのか。

〈事務局〉現在、安中市には工業団地が用意できておらず、そのための用地も確保できていないため、企業誘致を所管する地域創造課を中心として庁内に関係各課による検討組織を立ち上げ、西毛広域幹線道路の整備を見据えた計画を検討している。この総合計画では具体

的なことまで書き込むことはできないが、そのような取組を進めている。

〈委員〉県基本計画の中に安中市に関する具体的な記載がないのは、取組が遅れていると思う。県基本計画に基づき国の支援が受けられるのだと思う。

〈事務局〉県基本計画の策定には安中市も参加している。安中市においても、実際に事業者等から企業誘致に関する問い合わせがあり、用途地域の見直しなども進めている。今後も事業拡充を支援していきたいと考えている。

〈委員〉かつて商工関係者が主体となって、ゴルフ場を工業団地として整備することを検討したことがあった。関東農政局に相談したところ、一括申請であれば用途変更が可能だということで、県も市から話が上ってくれば協力するということがあった。しかし結局、市から県に話を上げてもらえなかった。現在その場所は太陽光パネルが設置されている。もし工業団地が実現していれば、さまざまな良い影響があったはずだと思う。これを踏まえ、市が率先して企業誘致を進めるなどの具体的な内容を総合計画に盛り込むべきだと思う。法律的な課題などは分からないが、具体的な目標がないと、せっかく良い総合計画をつくっても、「絵に描いた餅」で終わってしまうことになりかねないと思う。

〈委員〉群馬県が新たに策定した総合計画「はばたけ群馬プランⅡ（ツー）」の中に安中市についての記載があると思うが、それと安中市の総合計画との整合性は図っているのか。

〈NPO ぐんま〉群馬県の総合計画の中で地域別計画として「高崎・安中地域」の計画があり、その内容とできるだけ整合した内容を意識している。

〈会長〉P.104「5-3 商工業の振興」の指標の1つ「市外からの進出企業数」が最終目標値「2 企業」は、工業団地の整備を想定した値ではないと思う。担当課がさまざまな情報を集めた上での目標値だと思うので、総合計画期間内で工業団地の整備は難しいという判断なのかもしれないが、戦略的に「つばをつけておく」というような取組が文言として入れ込めないだろうか、それが難しいとしても、先ほど話が出たような過去の工業団地整備の機を逃した苦い経験を踏まえ、審議会から強い意見があったことを（担当課に）伝えてほしい。

〈委員〉かつて大きな行政課題として企業誘致を実現させた実績もあると思う。当時と現在では工業団地や企業誘致の意味合いが変わってきていると思うので、政策としてもう一度検証して、製造業だけでなく、IT 系企業など、今の時代に合った戦略的な政策を掲げていくべきだと思う。実際、松井田妙義インターチェンジができた時、ある企業が近くに進出を希望した際、単に工業団地を造成するだけでなく、周辺に子弟を教育する機関があるかどうかが問われた。その時に、安中市には新島学園という中等教育機関があるから大丈夫だと回答したことがある。西毛広域幹線道路が整備されて前橋市につながると、安中市に進出・移転したいという事例が出てくると思う。若年の労働力が減少する中、労働力が確保できるか、将来子ども達が教育を受ける環境が整っているかなども含めて企業誘致を戦略的に考えていく必要があると思う。

〈委員〉群馬県基本計画は、昨年 12 月に国の同意が得られ、さらに「地域未来牽引企業」として、県内の 47 社が選定された。今の地方創生の流れの中、このような国の施策が示されるようになってきていると思う。安中市も企業誘致を進め、進出してくる企業がそのような企業に

選定されるようにできるといい。選定されれば、国の優遇措置が受けられる。そういう制度の活用を支援するために、安中市も工業用地を提供する案を示せるようにしないと、時代に遅れてしまうと思う。

〈委員〉群馬県内への企業誘致件数は、常に全国1・2位を争っている。また、昨年の渋川市長選挙では、企業誘致を公約のトップに掲げた候補が当選した。群馬県は災害が少ないので、第2の本社機能を県内に持ちたいという企業があると思う。群馬県も企業誘致を積極的に進めているので、安中市もその準備が必要だと思う。

〈委員〉税制改正で市の税収が減少する中、自分達の地域で稼ぐためには、企業誘致により雇用を増やし、住民税や固定資産税を増やすことを考えるべきだと思う。国のそのような動きについていかないと遅れてしまうと思う。先ほどの「地域未来牽引企業」についても、国から事業計画が認定されれば、企業はそれを実行に移すために土地が必要になってくる。そういう動きに対応できるようにしておく必要があると思う。

〈委員〉都内でオフィスを構えなくてもITを活用すれば事業展開は可能である。八ヶ岳山麓などでそういう事例もある。そういう動きもしっかりとらえていくべきだ。

〈委員〉P.107に道の駅についての記載が追加されたが、4年前に大雪が降った際、国道18号バイパスの交通が麻痺した経験を踏まえ、防災拠点としての機能をあわせて検討できるとよいと思う。そうすれば防災関係の国の支援も活用できると思う。また、施設は必ずしも新しく整備するのではなく、既存施設の活用も検討すべきだと思う。

〈委員〉道の駅は、かつて実現寸前まで話が進んだことがあるが、かなわなかった。

〈事務局〉道の駅は市長の公約でもある。国道18号沿いにはいくつも道の駅があるが、群馬県内にはない。国などのあらゆる支援制度を活用しながら、賑わい、雇用創出、防災なども含めて検討していきたい。まずは、場所の選定が重要となる。そして、24時間無料で利用できる駐車場とトイレ、情報発信機能、地域連携機能などが要件となるが、これに加えて防災機能も持たせたいと考えている。近年新設される道の駅は防災機能を持ったものがほとんどだと思う。

〈委員〉富岡市の「道の駅みょうぎ」は政治力をうまく利用したと思う。ぜひ国へのPRを図ってほしい。かつて道の駅を検討したのは郷原だったが、その辺りは道の駅よりもむしろ、工業団地が向いていると思う。

〈委員〉工場団地についてはぜひ総合計画に盛り込んでほしい。また、目標を達成できる総合計画にしてほしい。

〈会長〉今の時代、道の駅に温泉をつくるなどということだけでなく、災害時を想定した入浴用の空間などを想定することも考えられる。そういうことであれば防災の視点が示しやすく、国も納得するかもしれない。

〈会長〉P.10の3つ目のグラフの軸ラベルに表記もれがないか確認してほしい。また、基本計画の「10年後の目指す姿」「5年後の取組の方針」の文字が細く、上下方向のセンタリングもズレているように見えるので確認してほしい。また可能であれば「こうめちゃん」も入れたい。

〈委員〉P.44「1-5 住環境の整備」について。危険空き家除去の有効な支援策はないか。

〈事務局〉現在、空き家対策の窓口の一本化を図っている。また、今年度中に対策計画を策定する予定である。協議会も立ち上げたので、最終的な特定空家の行政代執行を含めて、緊急性の高いものから優先順位をつけて取り組んでいく予定である。現在取組を進めている中では、所有者の特定と連絡が大きな課題になっていると聞いている。空き家については、有効活用も同時に検討していきたいと考えている。

〈会 長〉行政代執行は、東京あたりでようやく取組が始まったという段階である。

P.66「2-7 消費者の保護」の現状と課題について。インターネットに関係するトラブルとして最近、仮想通貨が大きな問題となっているので、「電子商取引」に加えて「電子決済」の文言追加を検討してほしい。

〈委 員〉P.74「3-3 地域福祉の推進」について。ひきこもりや孤独死の文言が追加されてよかった。地域福祉計画が策定されたが、総合計画との整合性も重要だと思う。高齢者福祉関係では、「徘徊 SOS ネットワーク」をつくっているが、それを含めて今後実施計画をつくり、その経過を見ていくことが重要だと思う。

〈委 員〉総合計画の実施推進体制の記述が弱いと思う。この計画は市民総働を大きく掲げており、画期的なものとなっている。市民総働の中心は市役所になると思うが、市民総働を掲げることによる、これまでとの違いは何か、誰が主体となって、どのような組織や体制をつくって推進するのかなど、計画推進の「エンジン」が分かりにくいと思う。この総合計画は、従来の市役所中心の体制ではなく、みんなが一緒になって推進することが重要であり、安中市の大きな課題である超高齢社会や子育て支援など、広義の地域福祉の供給体制をみんなが参画して取り組むということを高らかに宣言した総合計画だと思う。従来の体制を変えていく必要があると思うし、変えないと実現できないと思う。1つの節として掲げるほどではないかもしれないが、市民総働を中心として総合計画の具体的な実施推進の体制について、より分かりやすく掲げないと物足りない気がする。

〈会 長〉総論の中で可能性を書き込む、計画推進の担い手、つまり主語を明らかにすることなどを事務局と相談したい。

〈委 員〉例えばP.112「6-1 市民総働の推進」の現状と課題として「各コミュニティの現状を踏まえた組織運営が課題」という記述があるが、その組織運営を市民総働でどのように変えていくのか、そういう具体的な取組が重要だと思う。

〈委 員〉P.113に「市民の役割」とあるが、そのための「エンジン」をどこに置き、具体的にどのように進めていくかが重要だと思う。

〈委 員〉安中市の地域コミュニティは、昭和の大合併で残った14の地域と、その101の行政区を単位として行政サービス供給の最末端組織となっている。しかし、社会経済情勢の変化により、高齢化率、単独世帯数、耕作放棄地、空き家など、地区によって状況が大きく異なる現状がある。14の地域ごとに総合計画をつくることは難しいと思うが、子育て支援、高齢者福祉、商店街振興など、多様化した地域ごとの実情を踏まえた市民総働の「エンジン」を誰が中心となって、どのような組織や体制で推進するのか、地域コミュニティの再編成を含めたそういう視点が欠けていると思う。

〈会 長〉担い手については、事務局と相談するということで一度引き取らせていただきたい。

- 〈副会長〉 P.113の「市民の役割」を果たす上で、区長会の役割は大きく、不可欠だと思う。しかし、住民の意識が必ずしも高くない現状がある。もう一度各行政区で原点に戻って地域づくりについて考え直していくべきと思う。
- 〈委員〉 P.92「4-3 生涯スポーツの推進」について。現状と課題に記載された内容は大切なことだと思う。現在、市内で45の競技団体が活動しており、市民の健康づくりに最も近くで接しているので、課題解決に向けて取り組んでいきたい。一方、市内のスポーツ施設は、年数が経って老朽化しているものもあるので、充実を図ってほしい。
- 〈委員〉 P.93の「スポーツ施設の計画的な整備」について。障害者は無料で利用できる施設が多いが、付き添いの人がいなければ利用できない障害者もあり、例えば（スポーツセンターの）温水プールでは、付き添いの人の料金は障害者の負担となる。一方、前橋市六供にある温水プールなどは、障害者本人とその介護者（2名まで）は料金が免除される。藤岡市の施設でも同様だと思う。障害者の健康維持のためにも料金について検討してほしい。
- 〈委員〉 市民総働について。市民は各分野では協働で取り組んでいるが、それが1つにまとまっていないと思う。1つの方向性でまとまることで、市民の意識も高まると思うし、区長会をはじめ、主体的に関わっている人達も動きやすくなると思う。
- 〈委員〉 地域福祉や高齢者福祉など、区長の役割や負担が昔と比べてかなり大きくなってきていると思う。区長が、民生委員児童委員やケアマネジャーなどからも相談を受けることもある。一方、区長には民生委員児童委員などの資格がないので、動きたくても動けない面もある。もう少し区長の仕事を軽減することを検討してほしい。
- 〈委員〉 旧松井田町域は本庁舎から距離があることもあり、ますます区長の負担が大きくなってきていると思う。
- 〈委員〉 市民総働と言っても、若い人達は平日働いているので、難しい面もあると思う。
- 〈委員〉 市民総働が進むよう、行政側もIT活用などによる効率化を図る必要があると思う。
- 〈会長〉 市民総働は、今後まだまだ考えていくべきことがあると思うが、徐々にということだと思う。
- 〈副会長〉（区長会では）個人情報の制限に大変困っている。立場に応じてもう少し情報を開示してほしい。また、旧安中市域ではすべての地区に女性防災クラブができているが、旧松井田町域には1つしかない。世帯数の違いもあるが、リーダーのなり手がいないことが大きな課題となっている。地域のリーダーの養成も重要だと思う。
- 〈会長〉 個人情報はゼロ・イチではなく、どこまで開示できるかの指針があるとよいと思う。繰り返しになるが、市民総働の主語については私と事務局に一任してほしい。他に意見等があれば、今日・明日中に事務局までお願いしたい。

（2）第2次安中市総合計画ダイジェスト版（案）について

- 〈会長〉 事務局の説明を受ける前に、まずは内容について率直な意見や感想をいただきたい。
- 〈委員〉 全体に文字が小さい。高齢者は読まずに捨ててしまうと思う。
- 〈委員〉 フォントが読みにくい。総合計画本書のフォントのほうが読みやすい。

- 〈委員〉「3層構成」の言葉が分かりにくい。
- 〈会長〉計画期間の表示数値の合計を誤解する人がいるかもしれない。3層構成のピラミッドの色は基本構想の緑、基本計画の青と合わせたほうが分かりやすいと思う。
- 〈委員〉色が暗い。
- 〈委員〉P.3の人口のグラフは、総合計画本書と整合がとれていない。本書に合わせるべきだと思う。
- 〈会長〉P.3の年代別のグラフは、積み上げなど、分かりやすい種類を検討してほしい。
- 〈委員〉P.3の各課題の後ろにある薄文字が読みにくい。
- 〈委員〉市長あいさつには、市民総働について分かりやすく書いてほしい。
- 〈委員〉全体に色が濃い。また、赤系の色は怖い印象を持つ。
- 〈会長〉P.6の施策体系は、すべてを入れなくてもよいと思うがいかがか。また、全体的に表現が硬いと思う。できれば「こうめちゃん」を入れてほしい。
- 〈委員〉基本施策はすべて入れたほうがよいと思う。
- 〈委員〉全体に文字が多すぎる。
- 〈委員〉PDCAの説明は必要だろうか。
- 〈委員〉市長あいさつ文を表紙に入れる方法もある。
- 〈委員〉表示はこのままのほうがきれいでよいと思う。
- 〈委員〉元気の出るような写真をできるだけ載せてほしい。
- 〈NPO ぐんま〉表紙は総合計画本書と同様のイメージを想定している。なお、現在入っている写真は、表紙を含めてすべてサンプルである。
- 〈会長〉P.5～7ページにかけて、重点目標がQ&A形式になっているのは分かりやすくよいと思う。他に意見等があれば、来週中に事務局までお願いしたい。

(3) 審議会答申(案)について

〈資料3に基づき会長より説明〉

- 〈会長〉この内容でよろしければ来週、市長に答申したい。
- 〈委員〉2つめの項目について。「行政全体での組織的な支援」をもっとはっきりと書き込むと、先ほど協議した市民総働推進の「エンジン」が明確になると思う。
- 〈会長〉答申の際に「絵に描いた餅で終わらせないように、市民総働推進のエンジンをフル回転させてほしい」といった趣旨を口頭で付け加えたい。
- 〈委員〉「安心」の文言が、課題や基本目標などで見られるが、将来像にも入れ込めるとよいと思った。また、「元気」という言葉には抵抗を感じる人がいるかもしれない。これは感想である。
- 〈会長〉この内容について他に意見等があれば、今日・明日中に事務局までお願いしたい。

(4) その他

- 〈事務局〉2月6日(火)11時より、正副会長より市長に答申をする予定である。当日都合のつく委員は事務局まで連絡してほしい。

4. その他

〈事務局〉今後の予定について。2月6日に答申予定である。答申書は、まとまったものを後日各委員に送付したい。その後、庁議決定を経て、2月27日からの市議会定例会にて、総合計画の基本構想部分について議案として提案したい。計画書本書については、最終的に写真やデータ構成等の編集作業を行い、製本する予定である。完成したら各委員にも配布したい、ダイジェスト版については全戸配布を予定している。

〈委員〉邦楽イベントのチラシを配布した。入場無料なので、時間があればぜひ出かけてほしい。

〈事務局〉磯部温泉組合が作成したポケットティッシュを配布したのでぜひ活用してほしい。

〈事務局〉昨年5月から5回にわたり活発な議論をいただき感謝申し上げたい。閉会にあたり、茂木市長から一言あいさつをさせてほしい。

〈市長〉本日は、最終の審議会ということで、一言お礼を申し上げたかった。安中市の今後の方向性について議論をいただき感謝申し上げたい。審議いただいた内容をもとに、議会への提案を経て、これから一緒に安中市をつくっていきたい。

5. 閉会

以上

議事録署名人

水 平 良 治

議事録署名人

上 原 ヌ イ 子